こんにちは　日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえです

２０２０年７月２２日　№６６　連絡先　日本共産党杉並区議団
03-3312-2111(2319)　０９０－９３２５－５６７６　sakaimasae.0507@gmail.com

新型コロナ対策　第６号補正予算の党区議団要望実る
２３区初、移動式ＰＣＲ検査バスの導入

７月２１日第４回区議会臨時会にて、補正予算の審議が行われ、可決されました。（３６事業２５億円）

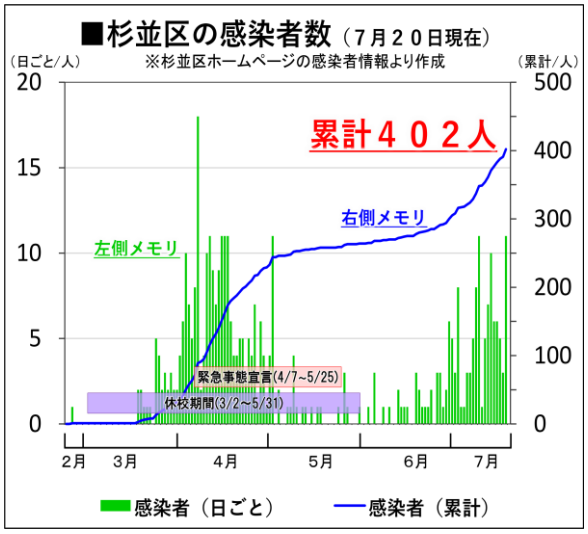
今回の補正予算には、第２波に備え、ＰＣＲ検査を強化するため、移動式のＰＣＲ検査バスの購入、現在実施している区内４基幹病院のＰＣＲ検査体制の人件費の補助、ＰＣＲ検査をしている区内クリニックなどへの運営補助、ＰＣＲ検査機器の追加配備などが盛りこまれました。

また、新型コロナの影響で４・５月分が減収となった区内障害福祉・介護施設などに対して、その減収の５０％（上限１００万円）を支給します。

バーやキャバレー、スナックなどの接待を伴う区内飲食店に対し、専門家による研修会や連絡会の設置、従業員のＰＣＲ検査費用の一部助成なども盛り込みました。

さらに区内商店街への飛沫用品、消毒用品の購入費の助成（一店舗３万円）、区内商店街の「お買い物券」のプレゼントキャンペーンの助成も行ないます。

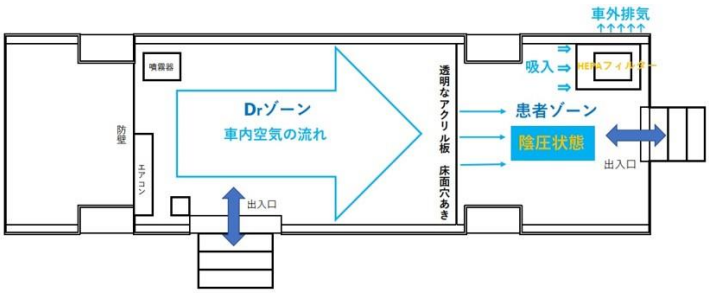
区議団は今後も、区民のみなさんの命、暮らしを守ることに全力を尽くします。



■杉並区内の陽性率（7月20日現在／区HPより）

期間	陽性者数（a）	検査件数（b）	陽性率（a／b）
6月1日~6月7日	3人	275件	1.10%
6月8日~6月14日	6人	291件	2.10%
6月15日~6月21日	4人	248件	1.60%
6月22日~6月28日	12人	260件	4.60%
6月29日~7月5日	22人	327件	6.70%
7月6日~7月12日	38人	460件	8.30%

ビックウエーブホールデング株式会社製
ＰＣＲ検査バス



ＰＣＲ検査バスの車内

投票率の向上のために行動を！

7月5日行われた東京都知事選挙の投票率は、東京都全体で、55％、杉並区は57．6％でした。半分近くの方が投票をしていません。

投票率向上のためには、有権者の意識の問題、行きたい意志はあっても移動が困難で行けないなどの、問題を解決していくことが大切だと考えます。

国、自治体の啓もう活動や、自治体によっては、移動が困難な、高齢者、障害者の方に対して、移動の支援をしているところもあります。地域の実情に合わせて行っている状況があります。

杉並区では、期日前投票は、15ケ所の区の施設で行っています。特に投票所への移動の支援はしていません。

7月21日　みなさんと朝の宣伝

今回、郵便等による不在者投票ができるということで、選挙管理委員会へ問い合わせました。

郵便による不在者投票ができる方は、身障手帳・内部障害1～3級、下肢機能障害1・2の方、介護度5の方です。

このように、郵便で投票できる方は限定され、単に高齢で移動が困難となった方は対象にはなりません。投票への呼びかけをしていると、このような高齢者の方が多くいらっしゃいました。

今後、郵便での不在者投票ができる枠を広げて行くとともに、投票率の向上の活動をみなさんと一緒にして行っていきます。

「隣が空き家で木が生い茂り困っています」

松ノ木にお住いのＦさんより相談をいただき、区の住宅課へ問い合わせしました。その後、杉並土木事務所と、ＮＴＴが重機で、空き家の木の伐採をしてくれました。道に張り出した部分がすっきりしました。

後

前

健康の話　膝の痛み

中高年になると、膝の痛みを訴える人が増えてきます。その原因として圧倒的に多いのが「変形性膝関節症」といわれています。

膝の関節は、大腿骨（太ももの骨）と腓骨（すねの骨）、そして膝蓋骨（お皿）が組み合わさってできています。大腿骨と腓骨の端は、骨同士がぶつからないように「関節軟骨」で覆われており、骨の間には軟骨の一種の「半月板」というクッション代わりの組織もあります。また、関節の中は「関節液」で満たされています。

「変形性膝関節症」は関節軟骨や半月板がすり減って変性が進むこと。すり減った軟骨のかけらが関節液に混じり、関節包の内側にある軟骨を刺激して、そこに炎症が起こり、痛みが生じます。

この「変形性膝関節症」の痛みを放置していると、だんだん自力歩行も困難となり、要介護状態になることもあります。

それでも、運動や薬物療法などで適切に治療すれば、症状を改善させたり、進行を遅らせることができます。「年のせいだからとあきらめないで早めに専門医に受診し、きちんと診察してもらうことが大切」と整形外科の先生も話しています。

今回は、膝の病態生理もお話ししましたが、次回は具体的に運動療法のことなどお話しします。　困った時は酒井へ